



入学式を終えました

今年度は、あいにくの天候になりましたが、気持ちは晴れやかに22名の新入生を迎えました。義務教育9年間のスタートです。

学校は「誰かにしてもらう所」ではなく、「自分でできることを増やす所」であることから、1年生の段階から少しずつ日々の学びの中で多くのことを習得してほしいと思っています。また、自分のしたいことや機嫌を優先するのではなく、調和や協調といった社会性も学校生活の学びの一つです。時にはクラスや個人間でトラブルが発生することもあるかもしれません。そのような時、どのように解決していけばいいのかを学ぶのも学校生活の大事なことのひとつかと思えます。

さらに今年度の1年生が3年生を迎える時、小長井小・小長井中は義務教育学校「小長井学園」となります。新しい学校の在り方で生活する中心となっていくのが、今年度の1年生とも言えます。学校でも義務教育学校開校に向けた諸準備が加速していくと思えます。そのような変化に対応できる子どもたちの育成を進めてまいります。

魚を欲する人には

「魚が欲しい」という人に、「魚」をあげると、どうなるでしょうか？

おそらく「ありがとうございます」と感謝されます。しかし、その人は「魚が欲しい」と言えば魚がもらえると学習する危険性もはらんでいます。つまり、自分を高めることなく依存してしまうということです。

では、「魚が欲しい」という人には、どう対応すればいいのでしょうか。それは「魚の釣り方」「魚の育て方」を教えることが大切になります。自分が欲している目標や目的を達成するためには、誰かにしてもらうばかりではなく、自分で目標や目的に到達するための「手立て」を「習得する」ことが肝心になります。

学校の学習に当てはめてみると、「答え」を教えてもらうのではなく、「答え」に到達するための道筋を学習し、それらを生かして新たな目標・目的を達成していくことが自分自身を高めていくことになります。